

URL <http://kanagawanet.org/>

市民社会チャレンジ基金交流会2018開催

1月16日、ヨコハマ創造都市センターで、「市民社会チャレンジ基金交流会新春につどう2018」を開催しました。交流会では、第26期市民社会チャレンジ基金助成団体の発表と、認定書の授与式が行われました。また、助成団体を代表してNPO法人パノラマ代表理事の石井正宏さんから、県立田奈高校の図書館で開かれている「ぴっかりカフェ」の報告がありました。

市民活動連携部長 土山由美子(伊勢原市議)



▲講演するパノラマ代表理事石井正宏さん

NPO 法人パノラマ

【横浜市青葉区】 助成金 30 万円

2015 年第 23 期に続く 2 度目の助成。

前回は、県立田奈高校の図書館カフェから始まる交流型相談・予防型支援のモデル事業の立ち上げへの助成。今回は、全国 5 カ所で自治体や高校関係者、NPO を対象にフォーラムを開催し、新たな取組みを拡げる活動への助成。

カフェは文化資本を提供する場

図書館カフェでは、常時 7、8 人の地域のボランティアが、お菓子やジュースを用意して、生徒を迎え、ゲームや音楽、おしゃべりを通じて交流しながら、「文化のフック」を増やし、大人との関係性を築いていきます。こうした体験が、自立への第一歩。問われなくても自分から困り事を話し出すそうです。

は、情報共有から緊急対応に繋がり、進路未決定や中退を予防するなど、早期発見・早期支援の取り組みとしても注目されます。

全国に学校カフェを広げる

「若者は変容性が高く、無限の可能性があり、自立を可能にする」と石井さんは言います。カフェは、教室とは違ったまなざしで課題を発見することができ、学校はきめ細かい支援体制を構築することができ、卒業後も交流や相談場所として機能します。「全国でカフェを使って、子どもたちに予防支援を拡げること」に貢献したい」と石井さんは力強く締めくくりました。

市民社会を強くする

NPO 法人きらら

クリアポート日中一時支援事業所

【逗子市】 助成金 40 万円

地域の空き家を活用し、知的障害者の日中の居場所として自立訓練活動を行う「日中一時支援事業」の立ち上げへの助成。生活スキルを身につけ、社会参加をめざす。地域でボランティアに活動する人たちとも連携し、全世代へサービスを提供することも期待される。

NoRa

【二宮町】 助成金 20 万円

耕作放棄地を子どもたちと共に自然農法によって復活させる体験を通して、自然や食に対する感性を育て、生きる力を育む子ども支援活動への助成。審査委員からは、「子どもたちがいつ行っても話し相手が居る畑付き居場所運営への展開や、今後の活動が二宮町の農地・農業を守っていくことを期待する」



エイムワイ

【横浜市神奈川区】

助成金 9 万円

障がい者施設等でつくった製品をパッケージやロゴマークでブランディングし、製品の価値を高めて販路拡大する事業の立ち上げへの助成。



特定非営利活動法人 リンクトゥミャンマー

【横浜市金沢区】 助成金 25 万円

ミャンマー文化を知るための講座の開催や、日本人向け相談窓口の広報事業への助成。審査委員からは、「日本人を対象とした相談窓口を、外国人自身が開設する取り組みは、ほとんど事例がなくその意義は大きい。ミャンマーの人たちが主体的に活動に取り組むことでエンパワメントし、草の根から多文化共生を進めることにこの基金が有効に使われることを期待する」とのコメント。



特定非営利活動法人 FUN SHINE(ファンシャイン)

【寒川町】 助成金 20 万円

障害福祉サービス「就労継続支援 B 型」事業所の立ち上げへの助成。制度外の事業で、一般企業等への就労支援事業も展開。審査委員から「農業や芸術などの分野にも活動を広げ、ディーセントワークが保障されるような事業展開を期待する」

NPO 法人 Wish

【相模原市南区】 助成金 10 万円

困窮世帯への食糧支援活動の一助として、その活動をアピールする費用などに対する助成。代表が塾を運営していた中から見た社会状況を捉え、踏み出した活動。



さっちゃんち

【鎌倉市】 助成金 10 万円

高齢の家族が独居でも生きていけるよう、自宅を活用し地域コミュニティをつくる取り組み。拠点整備の費用に対する助成。

